

資料1 低学年における総合的な指導の年間指導計画

科 単元(題材・主題) 担当表		桜枝岐小学校第2学年			
指導目標	1. 身近な自然の事象に親しませ、自然にふれる楽しさを体験的、活動的に味わわせる。 2. 楽しい雰囲気の中で学習することにより、幅広い経験やものの見方や考え方が総合的にできるようにする。 3. 子どもの主体的な学習態度(自然を調べる能力や態度、観察、表現飼育への関心)を育てる。				
指導方針	1. 自然の事物・現象に直接ふれる体験的な学習を重視し、それから生まれる楽しさや充実感を持たせるよう、野外観察を直接的に取り入れていく。 2. 身近な自然に親しみ、見たり、探したり、育てたり、使ったり、記録したり、表現したり、などの多様な活動を通して、科学的な見方、考え方を付けていくようにする。 3. 理科学習を中心として、国語、図工を組み合わせていく総合的指導とする。				
努力事項	1. 身近な自然に親しみ、積極的に働きかけていく学習場面の設定に努める。 2. 児童の具体的、体験的活動が行われるような授業の組織化に努める。 3. 指導過程を工夫し、児童を積極的に活動させるように努める。				
月	単元(題材・主題)名	時数	月	単元(題材・主題)名	時数
4	○春をさがそう (理2・国4・図2)	8 (8)	10	○たねと実あそび (理3・国2・図2) ○演奏会をしよう(理3・国1)	11 (53)
5	○ありと遊ぶ (理2・図4)	6 (14)	11	○空気遊び (理2・国1)	3 (56)
6	○ザリガニと遊ぶ さわガニ (理2・国2・図2)	6 (20)	12	○糸でんわを作ろう (理2・図2)	4 (60)
7	○しゃぼん玉ととばそう (理2・国2・図2)	6 (26)	1	○よく動くやじろべえを作ろう (理2・国1・図1)	4 (64)
8	○ひまわりの花 (理1・国1・図1)	3 (29)	2	○おもりで動くおもちゃを作ろう (理2・国1・図4) ○あかりをつけよう(理3・図1)	11 (75)
9	○草ふえをつくろう(理2・国1) ○虫をかう(理5・国3・図2)	13 (42)	3	○春が来た (理1・国1・図1)	3 (78)

時数78時間(理科34・国語20・図工24)

ア 校庭や野原で、春のおとずれを感じさせる草木や虫などのようすを探しながら草木の芽が伸びたり花が咲いたり、虫が現われてきたことに気づく。  
イ 野原で春の息吹きを感じとり、春の喜びを味わう。  
ウ 「春さがし」から、書くことをみつけ、二文ぐらいの短作文にま

- とめることができる。  
④ 指導計画(略)  
⑤ 「春をさがそう」の展開案(資料3)  
⑥ 授業の実際  
1 題材名「みつけた春」の発表会  
2 本時のねらい(資料3の6/6時  
3 指導過程(参照)

資料2 総合的単元目標の設定の進め方

教科名	理 科	総合的な指導	国 語
単元名 配 時	春をさがす (4時間)	春をさがそう (6時間)	書くことを見つけた (1)春を見つける (4時間)
総合的な指導にかかわる目標と時数	12/4 ○校庭や野原で春のおとずれを感じさせる草木や虫などのようすを探しながら、草木の芽が伸びたり、花が咲いたり、虫が現れてきたことに気づく。 ○日なたと日かげでは、草木の芽ばえや見られる草花にちがいがあことに気づく。 略	単 元 目 標  ア  イ  ウ. 春さがしから書くことを見つけた二文ぐらいの短作文にまとめることができる。	1/4 ○「春をみつける」ということや、みつけた事柄の書き方を知り、春をみつけて書くことができる。 2/4 ○更に新しい観点(五感を使って)から春をみつけることができる。 3/4 ○体全体から春をみつけ、書くことができる。 4/4 ○お互いの書いたものを発表し 略

※1等はそれぞれの単元配当時数中の総合的な指導にあてる次数を示す。

「みつけた春の発表会」の指導過程	学習活動・内容	時間
ア ⑦ 4 指導の結果と考察(一部) 理科では三月に 国語科では四月 月に指導する単元であるが 地域の実態や指導時期からいって四月に計画したことは適切であった。	1 春の歌をうたう。 春の歌を発表する。 「春はよんでるよ」「春が来た」をうたう。 2 歌詞の中から「春」をさがす。 本時のめあてをつかむ。 3 みつけた春を発表しあい、話合う。 かいたものを発表しあう。 最近みつけた春か、体をつかってみつけているか、発表態度はどうかについて話合う。 4 「檜枝岐村の春」の表にまとめる。 みつけた春を、花、木、虫、しぜんなどに書き入れる。 5 「春が来た」をうたう。	10  25 3 7(分)